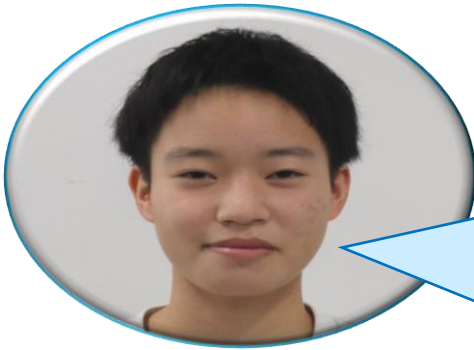




新人戦に向けての各部活動・クラブチームの代表者による決意表明 Part5

新人戦に向けての決意表明の連載は今回が最終回です。各部・各クラブチームとも大会に向けて練習を頑張っています。新人戦でも河東中の底力を発揮しましょう。

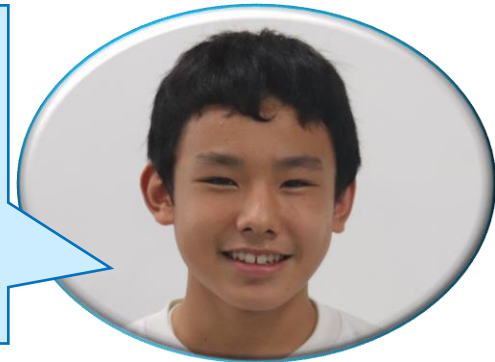


【 女子バスケットボール部 中村 天恵倫さん 】

こんにちは、女子バスケットボール部キャプテンの中村天恵倫です。10月29・30日に新人戦があります。新人戦では、筑前大会に行けるように頑張ります。そのために、みんなで声を出し、明るい雰囲気でも日々練習に励んでいます。10月1・2日には、トーナメントが決まる大事なカップ戦があります。ここでは、自分たちの持ち味を存分に発揮し、良いトーナメントにはいれるように頑張ります。コロナ禍で練習試合が減るなか、試合経験は少ないですが、練習不足を知力で補い、勝ち進んでいきたいです。

【 男子バスケットボール部 大森 亮和さん 】

こんにちは、男子バスケットボール部の部長になりました大森亮和です。男子バスケットボール部の新人戦の目標は、筑前大会ベスト4です。今年のチームは身長が低いですが、体力とチームバスケはこの学校にも負けません。新人戦で勝ち進むために、一つ一つの練習に全力で取り組み、きつい時でもみんなで声をかけ合って乗り越えていきます。まずは、10月1日・2日に行われるカップ戦で優勝し、10月29日・30日にある新人戦に向けて勢いをつけたいと思います。応援よろしくお願いします。



【 卓球部 橋本 光生さん 】

こんにちは、卓球部部長の橋本光生です。卓球部は、9月24日にあった練習試合で個人個人の課題や目標が見つかりました。卓球部全体の目標は新人戦で3位以内に入り、筑前大会に出場することです。そのために、先日の練習試合で見つけた自分の癖や課題を克服するよう日々努力しています。新人戦までもう1か月をきったので一日一日の練習を本気で取り組み、新人戦で絶対に勝てるように頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。



授業研修の風景

合唱コンクールに向けて18のクラス合唱と3つの学年合唱の指導をされているのが音楽科の今村先生です。クラス合唱づくりの授業を公開されました。

今村先生(音楽)

合唱の指導では宗像最高の指導者の一人である今村先生。そのメソッドとモチベーション向上のもっていき方を公開する授業研修が10月4日に行われました。



9年4組で行われた音楽科の授業。合唱コンクールを10日後にひかえて仕上げの段階に入っています。ただ歌うだけでなく、表現の工夫をして聴かせる合唱・感動を呼ぶ合唱を目指して練習していました。授業のはじめに聴いた時よりも授業の最後に聴いた歌は数段素晴らしいものになっていました。



指先の宇宙

～東京大学教授・福島智さんが語る深遠な言葉の世界～

「桜色の風が咲く」という映画が来月公開されます。この映画は、現在、東京大学教授としてバリアフリー教育で活躍されている福島智先生の子どもの頃の実話を映画化したものです。

福島さんは3歳で右目を、小学校3年生の時に左目を失明し全盲になりました。生まれつき楽天的だった福島さんは、視力を失っても音の世界がある、耳を使えば外の世界とつながることができると考え、音楽やスポーツや落語に夢中になったそうです。

しかし、さらに過酷な試練が全盲の少年を襲ってきます。中学校2年生の頃から右耳が聞こえなくなり、高校2年生の時には残された左耳も聞こえなくなります。

青春真っただ中の時期に福島さんは光と音から閉ざされた世界に放り込まれます。福島さんはその時の状態を「真っ黒な真空の宇宙空間に、ただ一人で浮かんでいる感じ」と表現しています。

「なぜぼくだけがこんなに苦しまなければならないのか・・・、これから先、ぼくはどうやって生きていけばいいのか・・・。」不安、恐怖、絶望の日々が続きました。

そんなある日、母親の令子さんが福島さんの指を点字タイプライターのキーに見立てて「さ・と・し・わ・か・る・か」と打ちました。「ああ、わかるで」と福島さんは答えました。

母親のこの指点字は大きな転機となりました。福島さんは真っ暗な宇宙空間から人間の世界に戻ってきたと言います。その時の感動を「指先の宇宙」という詩にしたためました。

その後、福島さんは東京都立大学に進学し、現在、東京大学の教授として活躍されています。

指先の宇宙

ぼくが光と音を失ったとき
そこにはことばがなかった
そして世界がなかった

ぼくは闇と静寂やみ せいじゃくの中でただ一人
ことばをなくして座っていた

ぼくの指にきみの指が触れたとき
そこにことばが生まれた
ことばは光を放ちメロディーを呼び戻した

ぼくが指先を通してきみとコミュニケーションするとき
そこに新たな宇宙が生まれた
ぼくは再び世界を発見した

コミュニケーションはぼくの命
ぼくの命はいつもことばとともにある
指先の宇宙でつむぎ出されたことばとともに

